



**PILLAR**

個人投資家様向け会社説明会

**日本ピラー工業株式会社**  
**(証券コード：6490)**

2022年8月19日

1/31



# 1. 日本ピラーってどんな会社？

2. 成長戦略（中期経営計画BT22）

3. 株主還元



連結売上高



406億円

連結営業利益



113億円

連結営業利益率



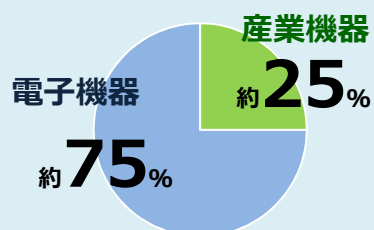
28.0%

年度成長率



8.4%

セグメント比率



海外売上高比率



30.5%

自己資本比率



81.0%

2024年で創業



100年

配当金



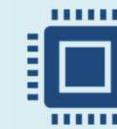
106円

配当性向



30.3%

継手のシェア

世界No.1  
(半導体洗浄装置向け)

連結従業員数



832人



## 社是

品質第一  
和衷協力  
一歩研究

## 経営理念

1. 住みよい地球と豊かな社会環境づくりに貢献します。
2. 独創的で高品質な製品を提供し、お客様にとってかけがえのない企業を目指します。
3. 法令・社会規範を遵守し、公正で健全な企業活動を行います。

## 社名の由来

- 1924年 船舶エンジンの蒸気漏れを防ぐ「ピラーパッキンNo.1」を開発
- 形状が柱状(=PILLAR)であったことから 日本ピラー工業と命名





1920

おもなニーズ：船舶



1940

おもなニーズ：エネルギー

## 時代のニーズとともに取り組んできた歩み

## 創業～生産体制の確立

1924

岩波嘉重が船舶用レシプロエンジンのシリンダーグラウンド用として合金製ピラーパッキンを考案し「日本ピラー工業所」を設立



創業者  
岩波嘉重

1926

大阪市淀川区に工場を新設、工業用漏れ止めパッキンの本格的生産を開始



1932

自動車用及び船舶内燃機用のガスケットの生産を開始

## 技術開発の躍進

1948

株式会社に改組し、「日本ピラー工業株式会社」を設立、資本金200万円  
東京出張所（現東京支店）を開設

1951

わが国で最初にメカニカルシール（軸封装置）を開発し、生産を開始

1952

高温・高圧管フランジ用パーチカルガスケットを開発  
ふっ素樹脂製品（商品名「ピラフロン」）の生産を開始

1967

兵庫県三田市に三田工場が竣工



1969

JIS・B・2404配管用うず巻形ガスケットの業界初のJIS認定工場になる

1970

新素材「炭化繊維」を開発し、生産を開始

1974

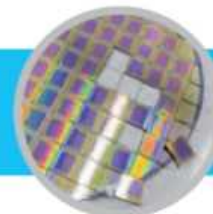
創業50周年





1980

おもなニーズ：自動車



2000

おもなニーズ：半導体



## ブランド確立、世界進出へ

1980

本社社屋を新築竣工  
当社初の海外合弁会社 Korea Pillar Packing Co.,Ltdを設立



1981

ISOシリーズ メカニカルシールの生産を開始

1984

大阪証券取引所市場第二部特別指定銘柄（新二部）に株式上場  
半導体製造装置向けふっ素樹脂製品の開発に着手し、初めて継手（ピラーフィッティング）を発売

1987

膨張黒鉛編組パッキン「ピラーマークIII」を開発、生産を開始

1989

京都府福知山市に  
福知山工場が竣工



1993

東南アジアへの販売拠点としてNippon Pillar Singapore Pte Ltd.を設立

1994

米国CAA（大気浄化法）対応の新パッキンEDP®の本格納入を開始

1995

「ISO9001」認証を取得  
大阪証券取引所市場第二部に指定替え

1999

米国にNIPPON PILLAR CORPORATION OF AMERICAを設立  
「ISO14001」認証を取得

※Emission Defence Packingの略。パッキン内部の浸透漏洩にまで対策を施した低漏洩・高性能パッキンのこと

## グローバル化の深耕、新事業の創出

2001

東京証券取引所及び大阪証券取引所市場第一部に上場  
台湾にTaiwan Pillar Industry Co.,Ltdを設立

2002

世界初の画期的なシール機構を実現した「スーパー300タイプピラーフィッティング」の生産を開始

2003

ノンアスベスト化への早期切り替えに寄与する「#2603-EEEテクノブラック」の生産を開始  
中華人民共和国にSuzhou Pillar Industry Co.,Ltdを設立

2005

熊本県合志市に九州工場が竣工

2007

中華人民共和国にShanghai Pillar Trading Co., Ltd.を設立

2012

半導体市場向け新型ロータリージョイントの生産を開始

2015

アラブ首長国連邦にNippon Pillar Middle East FZCOを設立  
タイ王国にNippon Pillar (Thailand) CO.,Ltd.を設立

2016

メキシコ合衆国にNPK Fluid Control Systems Mexico S.A. de C.V.を設立

2017

大阪市西区に本社を移転

2018

ドイツ連邦共和国にNippon Pillar Europe GmbHを設立

2019

インドネシア共和国にPT. Nippon Pillar Manufacturing IndonesiaとPT. Nippon Pillar Indonesiaを設立

2020

新・三田工場竣工  
中華人民共和国にPillar Technology (Chuzhou) Co., Ltd.を設立



2021

Pillar Technology (Chuzhou) Co.,Ltd.稼働開始

素材の研究を重ね  
様々な市場に展開

ピラーNO.1



膨張黒鉛

炭化繊維

PTFE

PFA

Si/SiC



半導体



自動車



化学プラント



電力



建築

新規市場への拡大

# 当社の事業領域

半導体・エネルギー・化学など様々な領域で、  
あらゆる流体を制御して、暮らしと環境の安心・安全に貢献しています







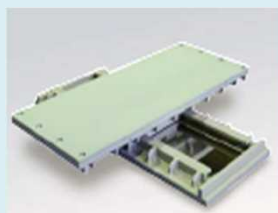
## 電子機器関連事業



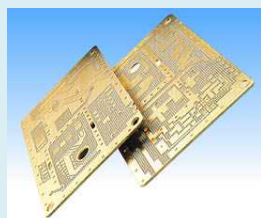
フィッティング



ベローズポンプ



ユニット支承



ふっ素樹脂基板

## 産業機器関連事業



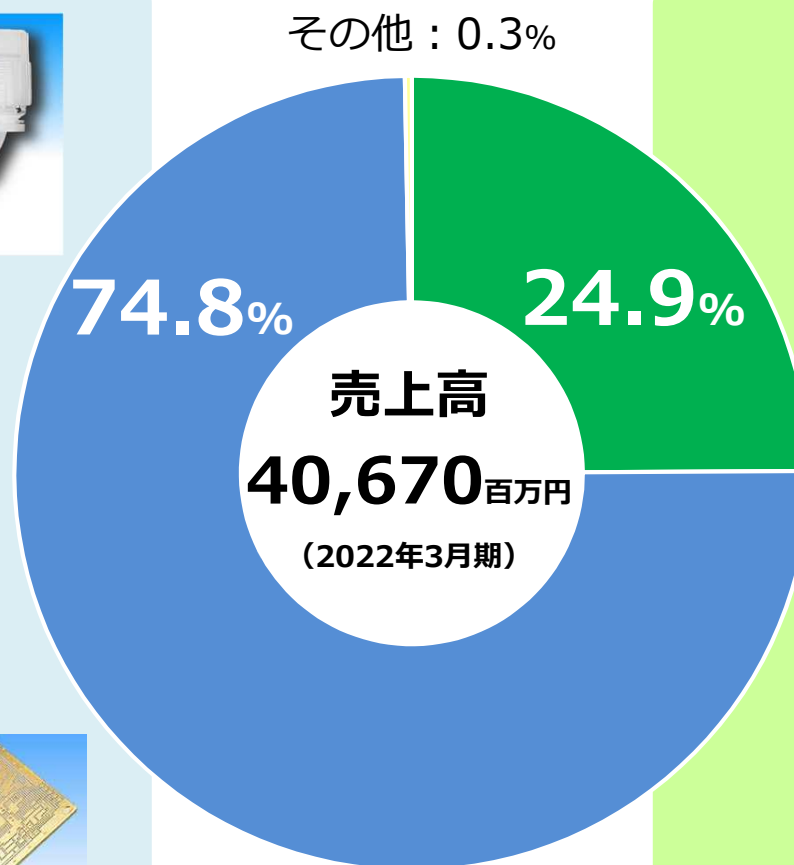
メカニカルシール



グラントパッキン



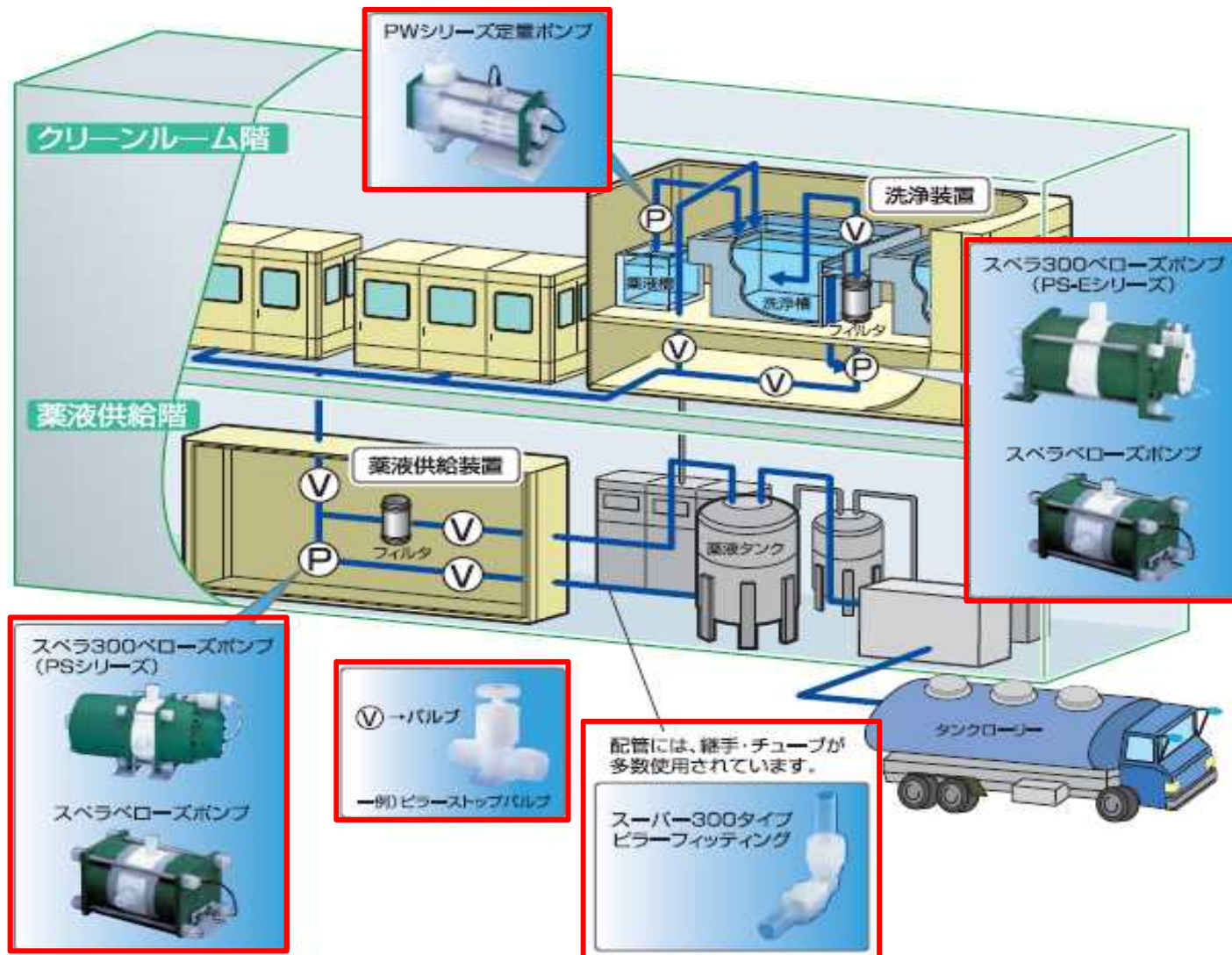
ガスケット



# 電子機器関連事業(ふっ素樹脂関連製品)と主な納入先



## 半導体・液晶分野での使用例





## 建築分野での使用例

ふっ素樹脂の低摩擦性を活用し、建築物や構造物の支持部に加わる力を回転・すべり機構によって軽減・吸収あべのハルカスなどの大規模施設にも使用されています

大屋根



連絡橋



半導体工場



【採用事例】

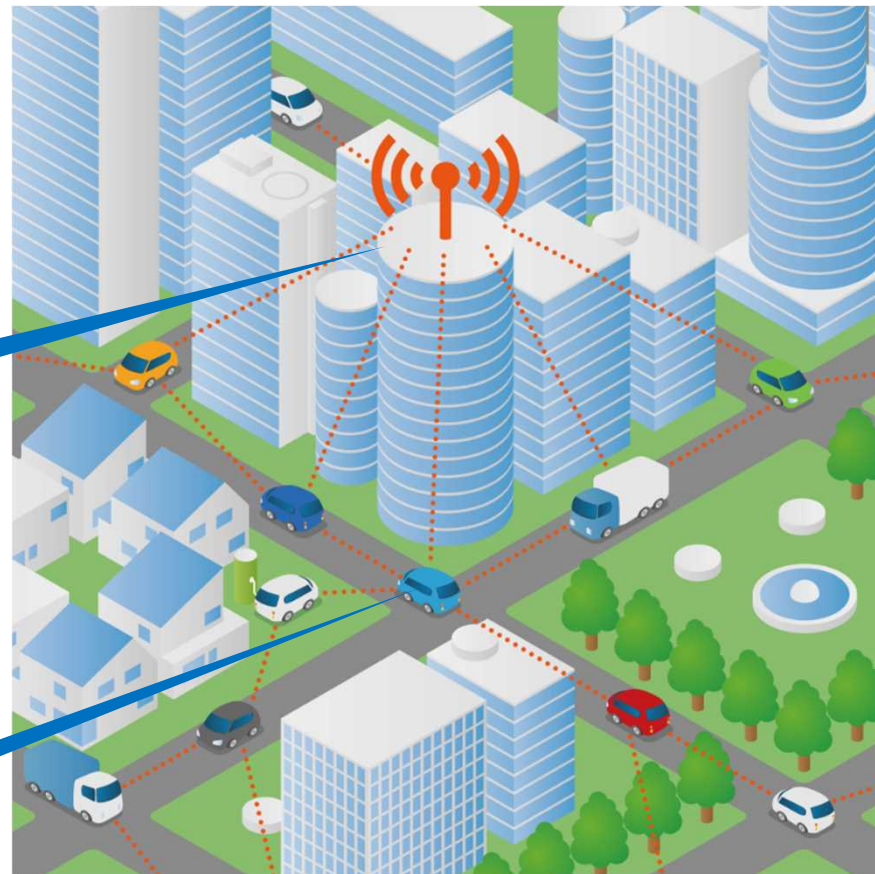
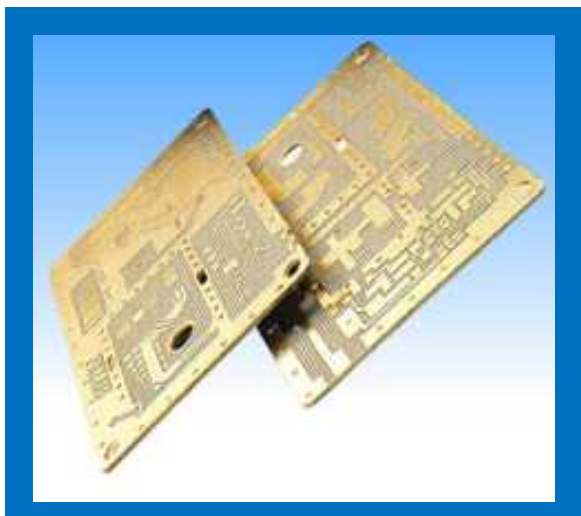
学校法人芝浦工業大学 豊洲キャンパス



## 新事業へのアプローチ

### ミリ波アンテナ用基板の開発

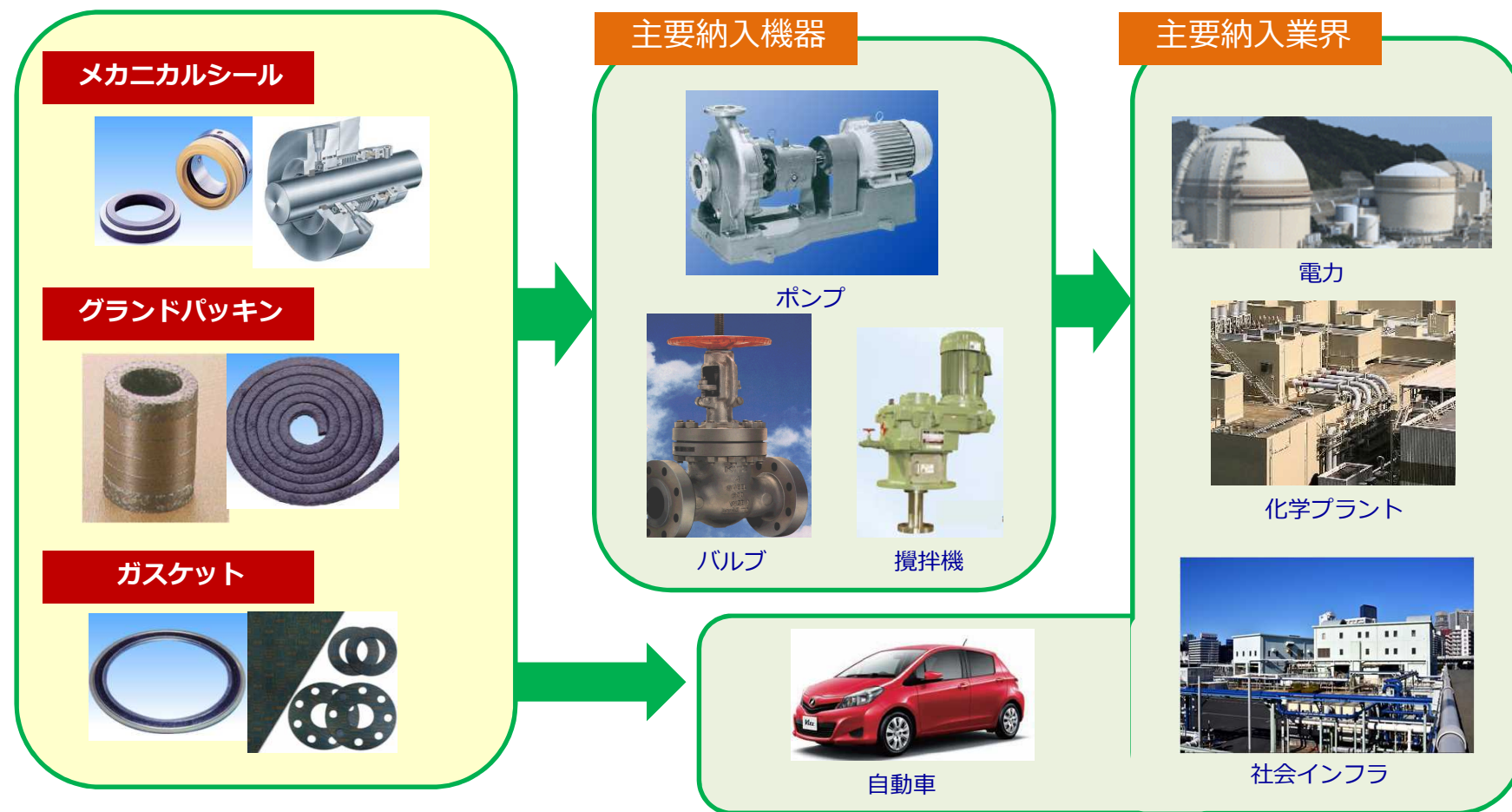
ふっ素樹脂特有の高周波特性を活かし、  
低損失なアンテナ基板を開発



→ 5G時代の到来に向け、基地局や車載向け  
アンテナ基板への新規参入を目指す



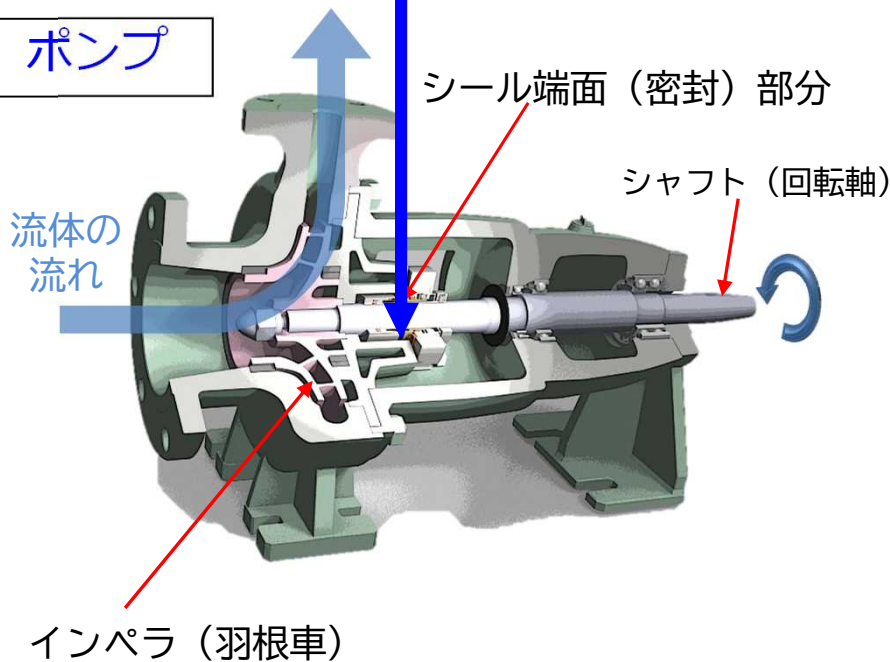
# 産業機器関連事業(シール関連製品)と主な納入先



## メカニカルシール



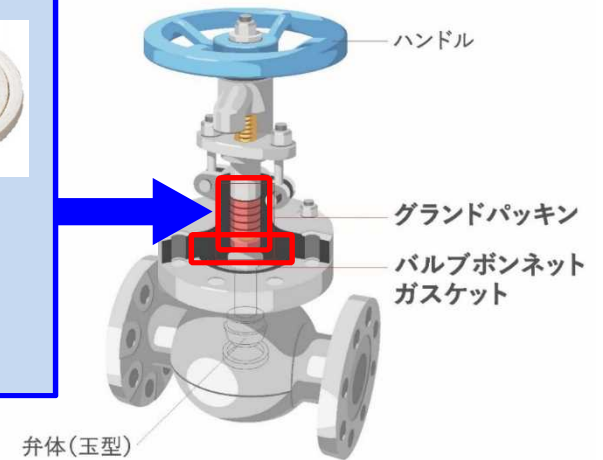
## ポンプ



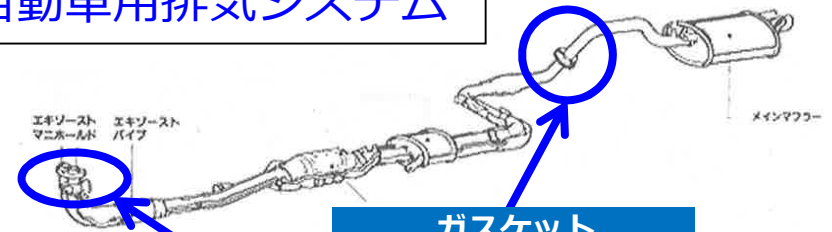
## グランドパッキン



## バルブ



## 自動車用排気システム



## ガスケット

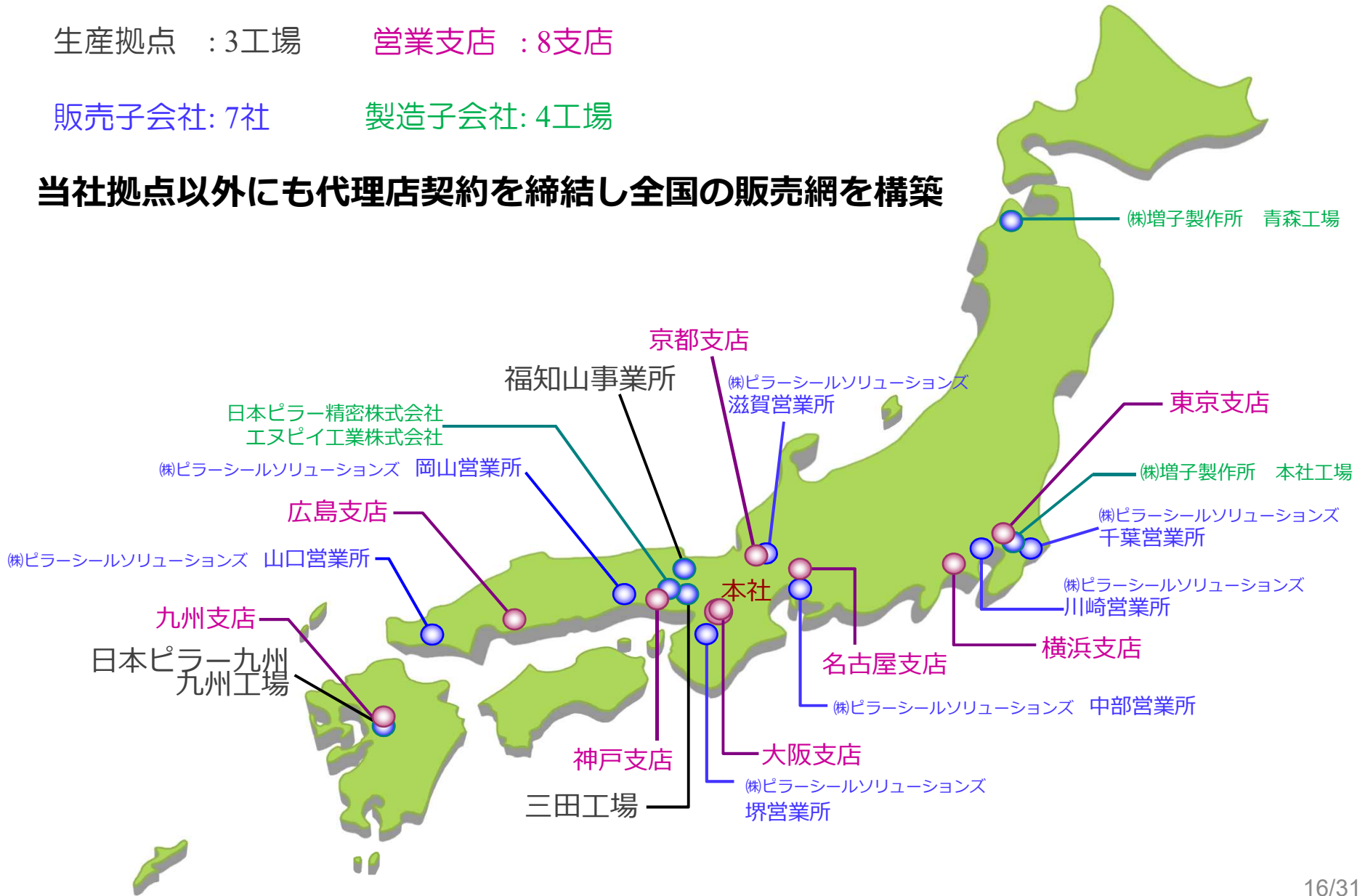




生産拠点 : 3工場      営業支店 : 8支店

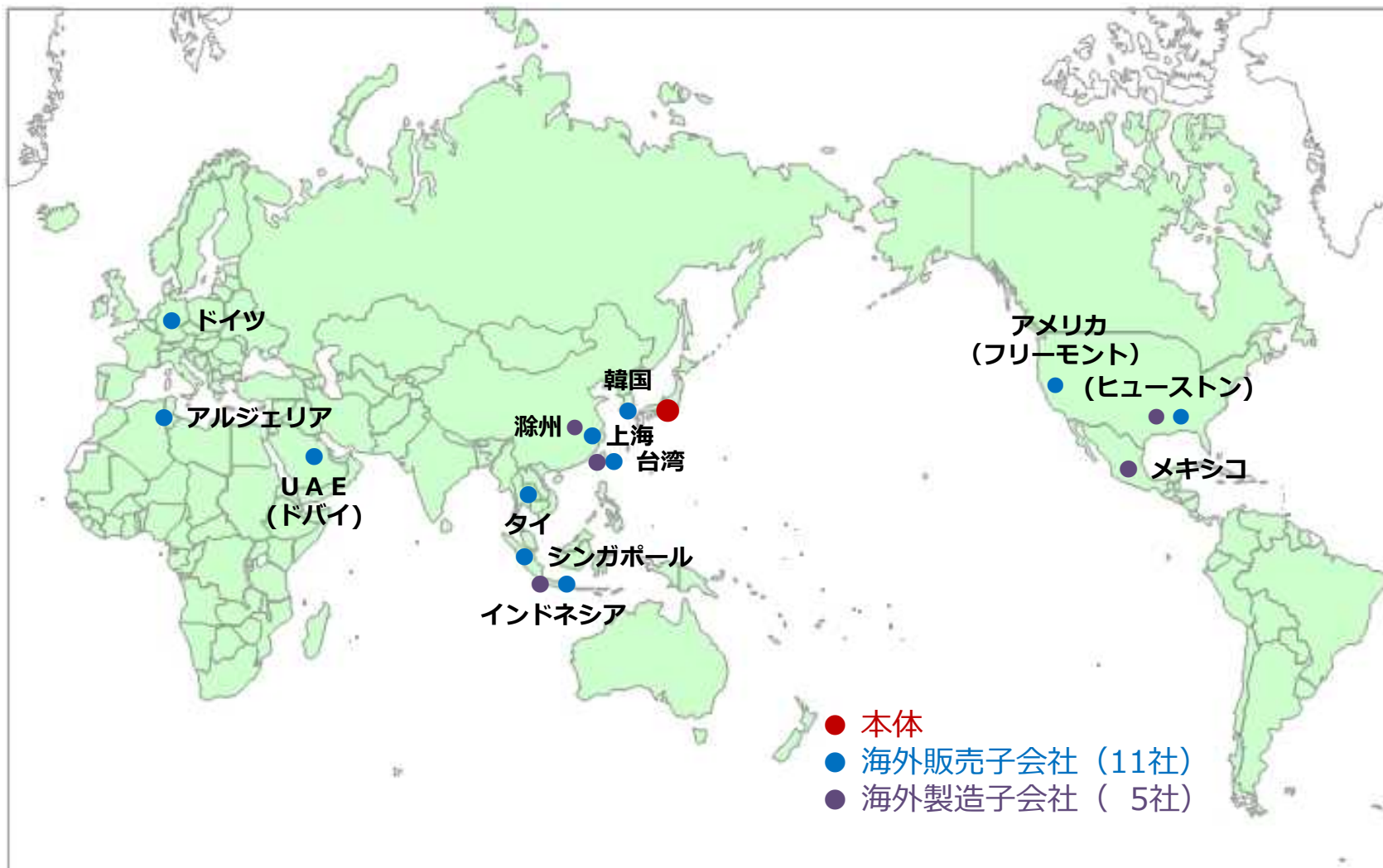
販売子会社: 7社      製造子会社: 4工場

## 当社拠点以外にも代理店契約を締結し全国の販売網を構築





## 海外拠点





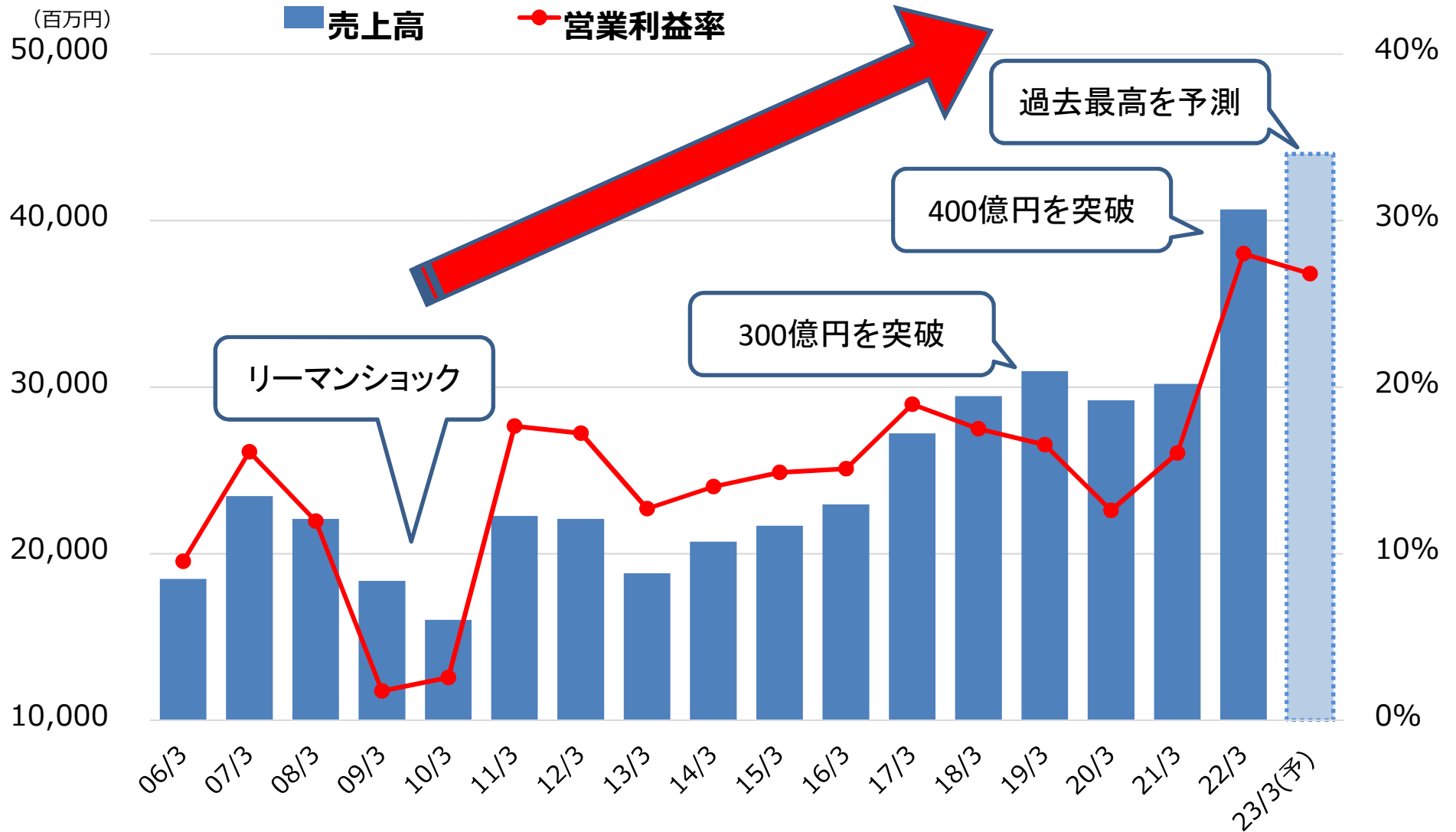
1. 日本ピラーってどんな会社？

**2. 成長戦略（中期経営計画BT22）**

3. 株主還元

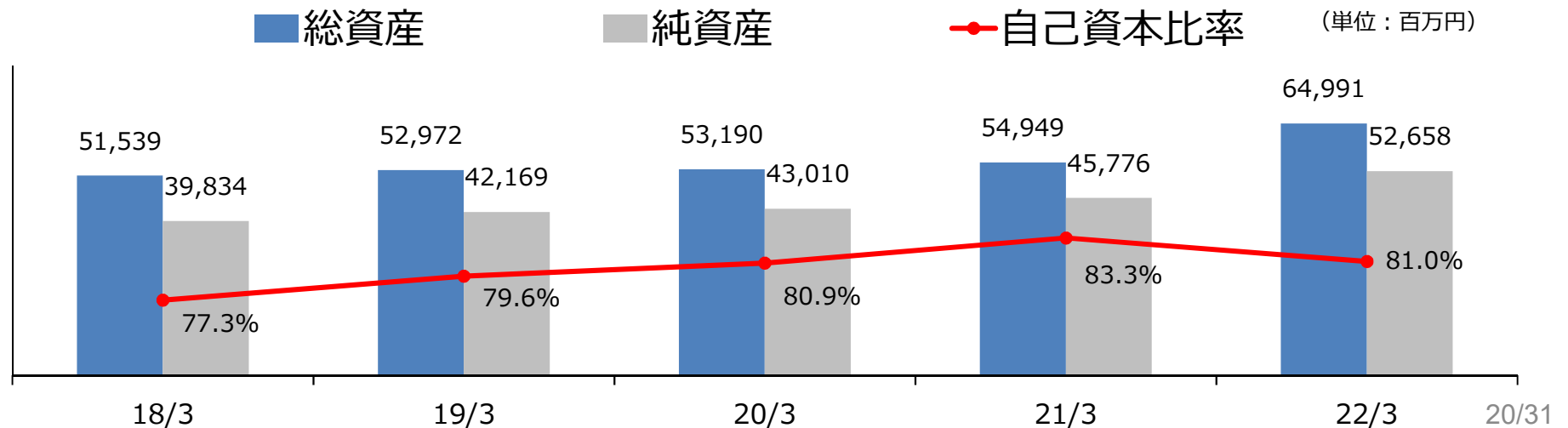
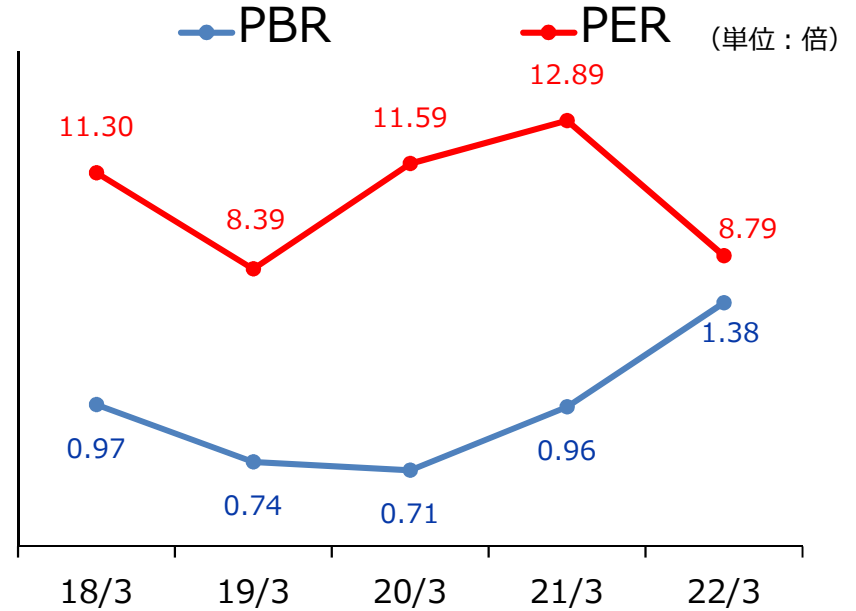
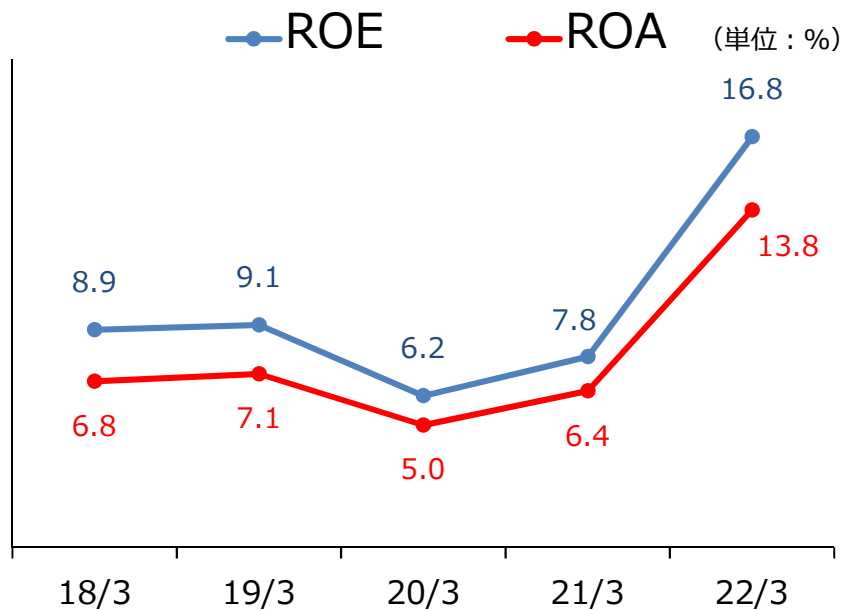


# 長期業績推移



安定的に売上高を拡大しつつ、高水準な利益率を維持

# 経営指標/財政状態推移



# 中期経営計画：BTvision22

(単位：百万円)

	BTvision19 20年3月期	BTvision22 23年3月期			増減額	
	<最終年度実績>	2021年3月期 実績	2022年3月期 実績	2023年3月期 最終年度見通し ②	②-①	
	①				増減額	増減率(%)
売上高	29,213	30,200	40,670	<b>44,000</b>	+14,787	50.6
電子機器関連事業	18,221	20,645	30,410	<b>33,200</b>	+14,979	82.2
産業機器関連事業	10,915	9,471	10,146	<b>10,800</b>	△115	△1.1
営業利益	3,683	4,847	11,392	<b>11,800</b>	+8,117	220.4
電子機器関連事業	2,253	4,130	9,737	<b>10,000</b>	+7,747	343.9
産業機器関連事業	1,404	691	1,589	<b>1,800</b>	+396	28.2
営業利益率	12.6%	16.1%	28.0%	<b>26.8%</b>	+14.2P	—
ROE	6.2%	7.8%	16.8%	<b>8.0%以上</b>	—	—
配当性向	36.8%	34.6%	30.3%	<b>30.0%以上</b>	—	—
設備投資額	(3ヶ年累計)11,649	972	992	<b>2,000</b>	△7,685	△66.0
			3,964			

## 最終年度のアクションプラン

### 電子機器関連

- ・不良率低減活動によるコスト競争力と供給力の更なる向上
- ・**滁州ピラーでの半導体市場向け製品ライン稼働**
- ・**半導体市場での事業領域拡大とシェアアップ**
- ・半導体製造装置向け生産設備の更なる増強
- ・産官学連携による新製品の開発

### 産業機器関連

- ・自動車市場向け量産品のグローバルシェアアップ
- ・**中国市場の開拓などグローバル戦略の強化**
- ・精密機器装置用メカニカルシールシェアアップ
- ・補修品事業強化に向けたシステム構築
- ・**クリーン市場向けシール製品の開発**

## 中期経営計画 最終年度進捗

	2022年3月期 1Q	2023年3月期 1Q		2023年3月期 (予)
	実績 (百万円)	実績 (百万円)	前年同期比 (%)	(百万円)
売上高	9,135	<b>10,704</b>	+17.2	<b>44,000</b>
営業利益	2,313	<b>2,975</b>	+28.6	<b>11,800</b>
経常利益	2,380	<b>3,338</b>	+40.3	<b>11,800</b>
当期純利益	1,696	<b>2,349</b>	+38.5	<b>8,300</b>

# 成長戦略①更なる成長への投資

- 来たる創業100周年、次の100年を見据え飛躍する中核的な工場
- その他の設備投資と合わせ、最大生産能力は80%増を見込む\*

\*九州工場を含めた当社全体の生産能力で計算

## コンセプト

新生産体制の構築によるコスト競争力の強化

顧客からの厳しい品質要求への対応

開放感のあるつくりで当社技術を「魅せる」工場

## 工場の概要

所在地	京都府福知山市長田野町3丁目17-6
着工	2022年4月
竣工予定	2023年9月
操業開始予定	2023年10月
投資総額	105億円
工場延べ床面積	19,570m <sup>2</sup>
敷地面積	80,006m <sup>2</sup>



\*奥3棟は将来の拡張可能エリア（今回の建築は手前の1棟）



\*正面玄関



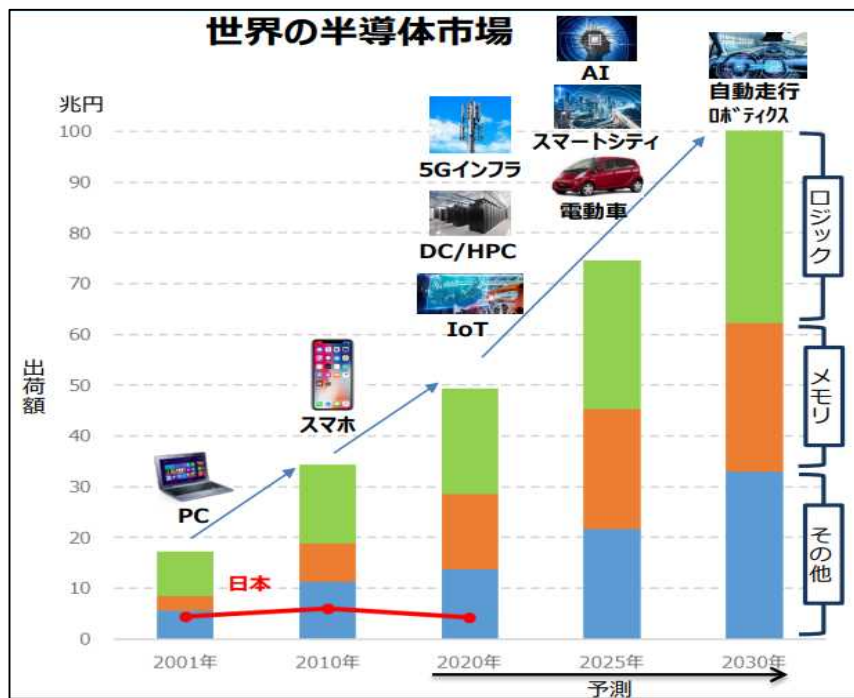
\*見学者通路



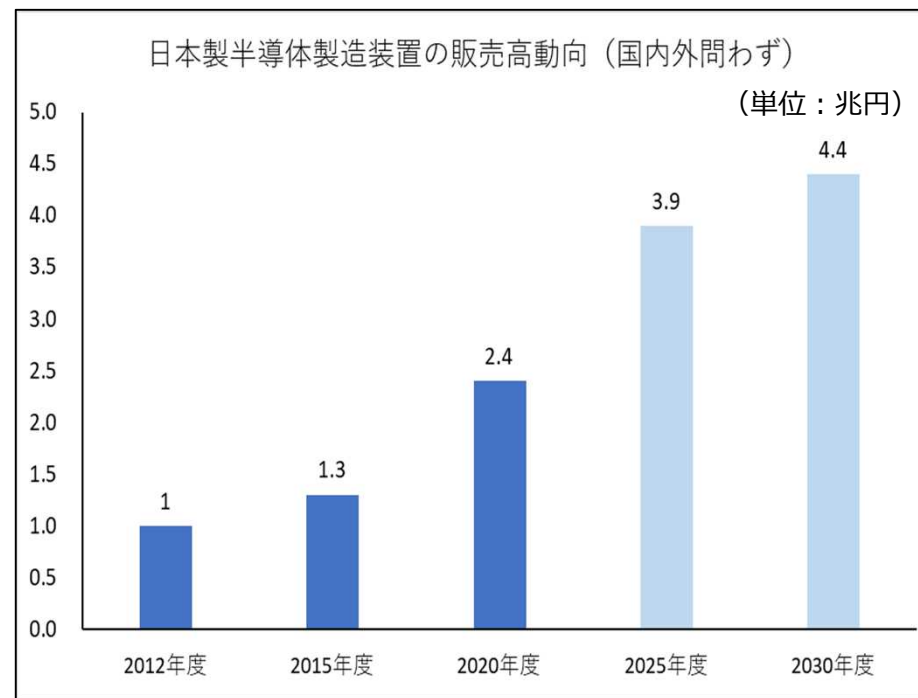
\*エントランスホール 23/31



## 半導体市場の拡大



\* 出典：経済産業省 半導体戦略（骨子）2021年3月

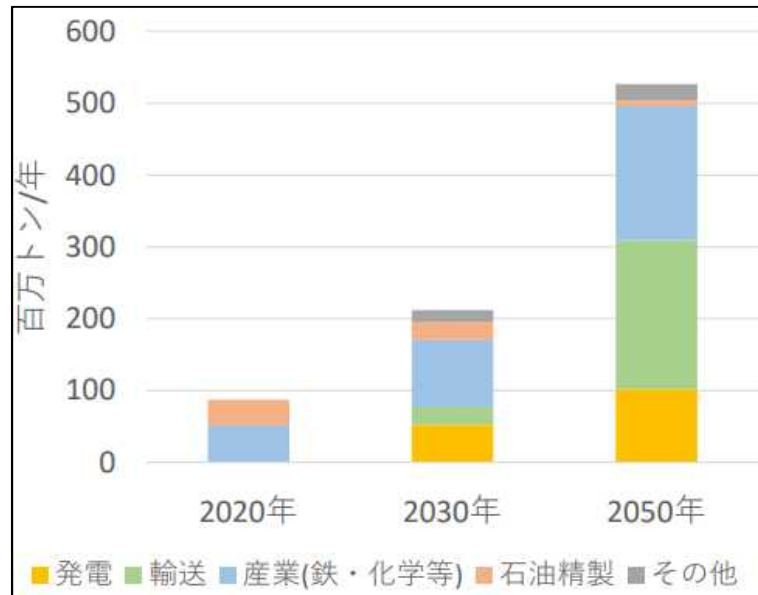


\* 出典：経済産業省 半導体・デジタル産業戦略検討会議 第5回（2022年4月14日）

- ①半導体市場やクリーン市場における事業領域の拡大
- ②次世代ニーズに合致する新技術・新製品の開発
- ③福知山第2工場の建設など半導体市場向け生産拠点・設備の増強

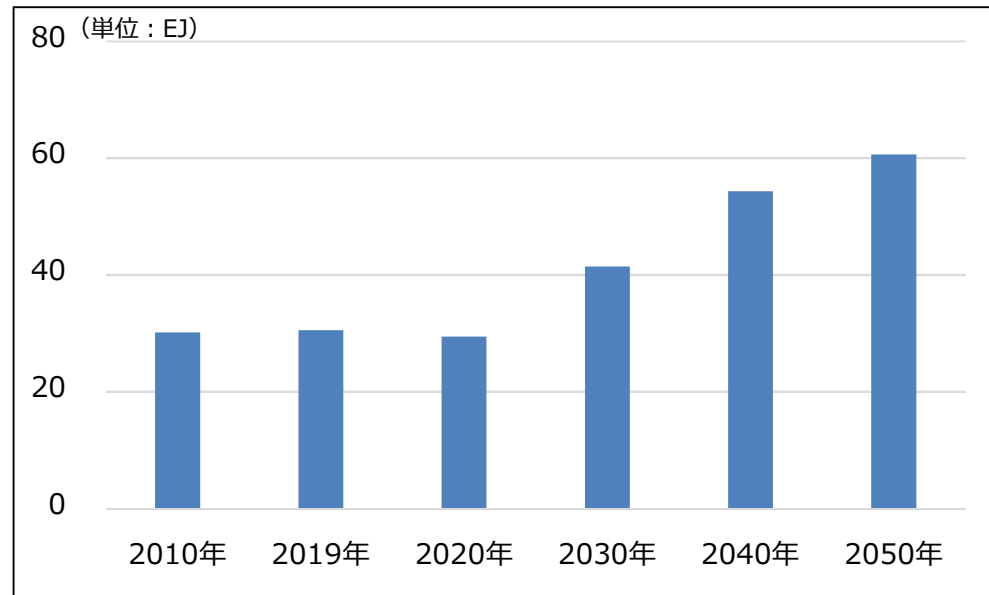
## エネルギー分野の見通し

世界の水素・アンモニア需要の見込み（分野別）



\* 経済産業省（2022/3/29）  
 総合資源エネルギー調査会 第1回 省エネルギー・新エネルギー分科会  
 水素政策小委員会/資源・燃料分科会 アンモニア等脱炭素燃料政策小委員会

世界の原子力発電供給量の見込み（※NZEシナリオ）



\* IEA(国際エネルギー機関) : World Energy Outlook2021を参考に当社作成  
 ※Net Zero Emissions by 2050 Scenario  
 = IEAによる2050年までにエネルギー関連のCO<sub>2</sub>排出ネットゼロに向けたロードマップ

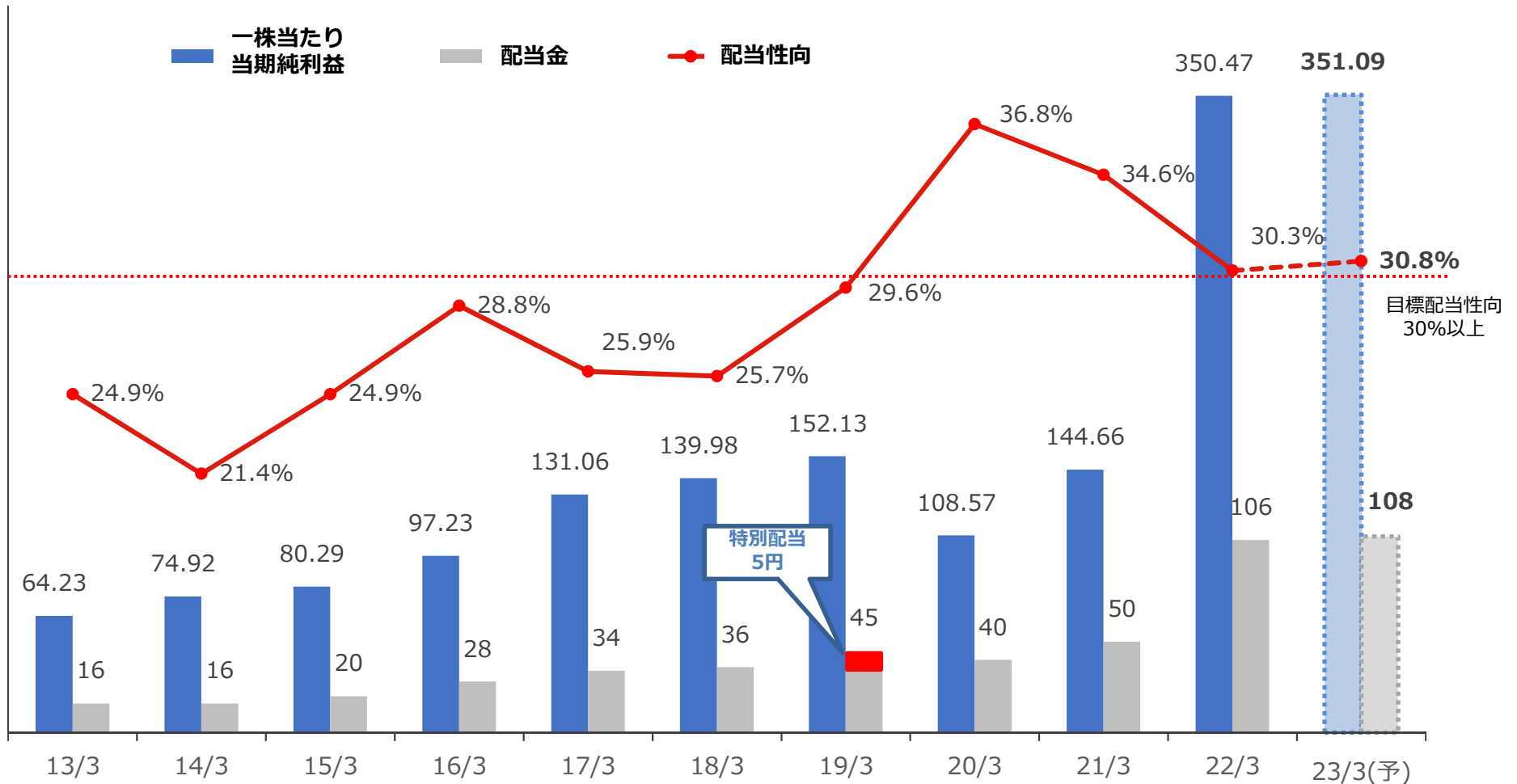
- ①エネルギー分野でパラダイムシフトが起きるなか、これまでの技術力を基盤に成長分野へ新技術・新製品を投入
- ②当社独自のシール技術を用い拡大するクリーンエネルギー市場でのプレゼンス向上
- ③極低温・高温・高圧力など様々な条件に対応する差別化された製品の開発



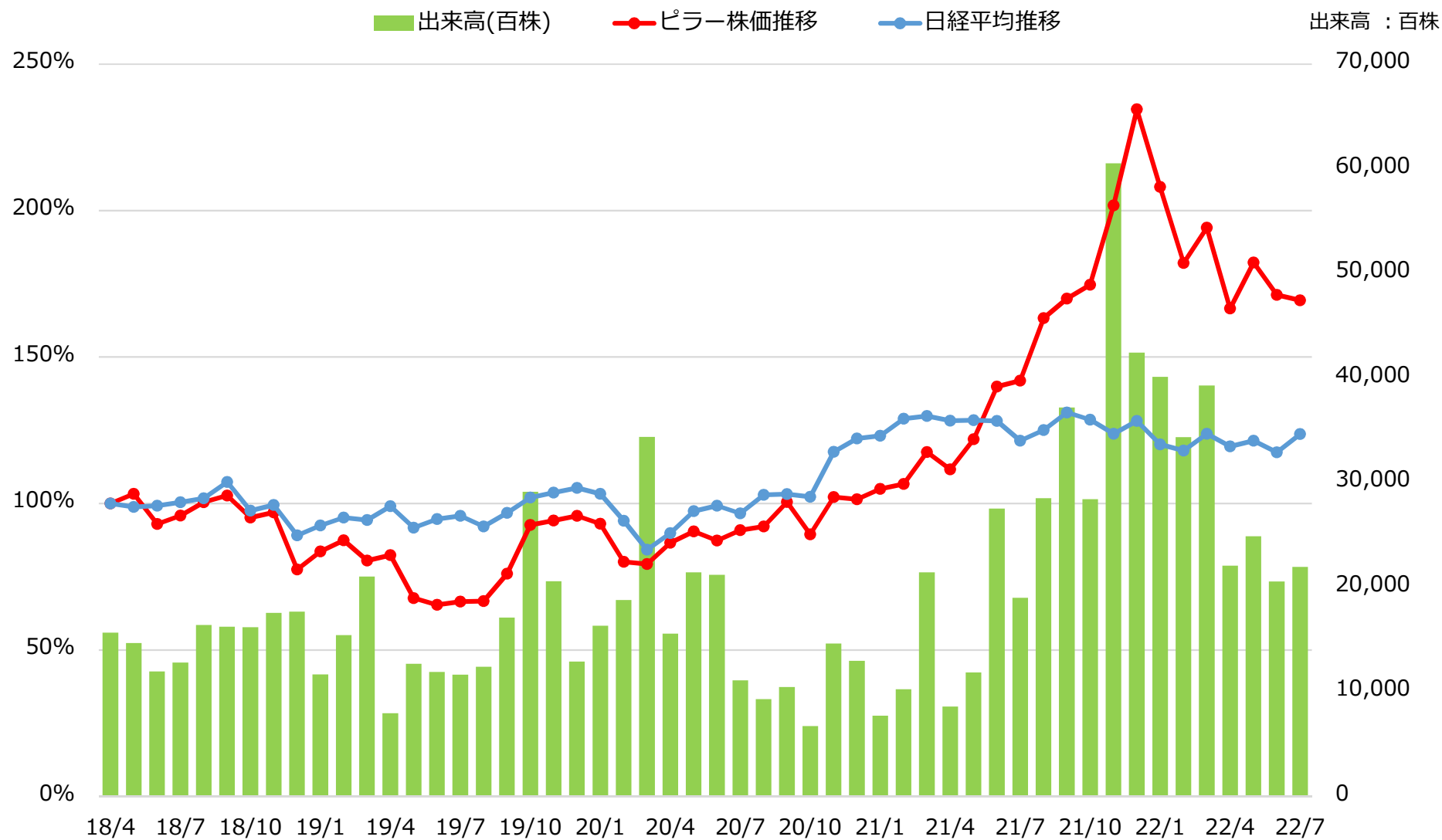
1. 日本ピラーってどんな会社？
2. 成長戦略（中期経営計画BT22）
- 3. 株主還元**



当社は、株主の皆様への利益還元を経営上の重要課題の一つとして位置付け、安定的かつ継続的な配当と配当水準の向上を努めることを基本方針としており、配当性向30%以上を目標に実施してまいります。



# 株価ファンチャート





# 株主優待

一定の株式を保有していただいている株主様に感謝するとともに、より多くの株主様に当社株式を中長期的に保有していただくことを目的として、株主優待制度を導入しております。

## オリジナルQUOカード進呈



各種優待情報誌にも掲載しています。

保有株式数／継続保有期間	3年未満	3年以上
100株～500株未満	1,500円	2,000円
500株～1,000株未満	2,000円	3,000円
1,000株以上	3,000円	4,000円

(注)：保有年数3年以上とは、毎年3月末日及び9月末日現在の株主名簿に同一の株主番号が連続して7回以上記載または記録されていること

## ■ 100株を3年以上保有した場合

	金額
株価（2022/8/18終値）	2,668円
最低投資金額（100株）※1	266,800円
年間配当金（23.3期予定）	10,800円
株主優待（年1回/3年以上保有）※2	2,000円
年間配当金 + 株主優待 （トータル利回り）	12,800円 (4.80%)

※1：2022年8月18日終値ベース

※2：3月31日時点の株主名簿に記載された1単元（100株）以上保有の株主様が対象

ご清聴いただき、ありがとうございました。

## 当社WEBサイトのご案内

トップメッセージや中期経営計画、最新のIR資料、株式関連情報などを掲載しております。ぜひご覧ください。



<https://www.pillar.co.jp/ja/ir/>



### 本資料について

- ・本資料には、将来の業績に関する予想、計画、見通しなどの記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。
- ・将来の業績は、主要市場の経済情報、製品需要の変動、為替相場の影響、国内外の各種規制、会計基準・慣行等の変更により、大幅に異なる可能性があることをご留意ください。
- ・本資料は情報の提供を目的として作成したものであり、本資料によって何らかの行動を勧誘するものではありません。

### 【IRに関するお問い合わせ先】

日本ピラー工業(株) 経営企画部

<https://www.pillar.jp/ja/inquiry/ir/>

